



# 保護者進路説明会

令和6年10月18日(金)

**福生市立福生第三中学校**

## 目次

1	はじめに	2 ページ
2	高等学校入試における推薦の取り扱いについて	3 ページ
3	進路についての今後の流れと心構え	4 ページ
	(1) 今後の進路の流れ	
	(2) 願書を記入するときの注意点	
	(3) 「諸活動の記録」(3年間)について	
	(4) 自己PRカードの書き方	
	(5) 志望校選択にあたって	
4	都立高校について	9 ページ
	(1) 都立高校への応募資格について	
	(2) 推薦に基づく選抜	
	(3) 学力検査に基づく選抜(第一次募集・分割前期募集)	
	(4) 学力検査に基づく選抜(分割後期募集・第二次募集)	
	(5) 都立通信制課程	
5	国立高校、高等専門学校について	17 ページ
6	私立高校について	17 ページ
	(1) 推薦入試	
	(2) 一般入試	
7	専修学校について	18 ページ
8	サポート校について	18 ページ
9	都立職業能力開発センター(キャリアカレッジ)	19 ページ
10	就職について	19 ページ

補足資料1：チャレンジスクールとエンカレッジスクールについて

補足資料2：令和5年度東京都立高等学校入学者選抜における主な変更点や継続実施する選抜方法等について

## 1 はじめに

中学校生活も、残り5ヶ月を切りました。小学校・中学校とおおむね自動的に進んできましたが、ここで、初めての大きな選択をすることになります。目標を定め、焦らず、毎日、コツコツとやるべきことを実践していきましょう。

「〇〇高校へ行きたい」と考えているだけでなく、将来はどのようにしていきたいのか、そのためには何をすべきかを考えて、具体的に行動を始めましょう。

### これからの時期、大切にしたいこと

#### (1) 毎日の生活を大切にする

- ① 基本的な生活習慣を大切にする。
- ② 毎日の学校生活・授業を大切にする。

#### (2) 家庭での話し合いを大切にする

- ① 進路選択ということだけでなく、その先の将来について考える。
- ② 本人の希望・個性・適性について考える。

#### (3) 進路希望について自分自身で確かめる

- ① 自分の実力や適正に合わせた進路を選択する。
- ② 説明会や本・ホームページなどで情報を整理し、先生などに相談する。
- ③ 第一志望だけでなく、第二志望等についても通うことを前提に考えて確かめる。
- ④ 通学時間・校風・入試日程等を十分に考慮し、無理のない進路選択をする。

## 2 高等学校等の入試における推薦の取り扱いについて（年度当初保護者会プリントより）

### 高等学校等の入試における推薦の取り扱いについて

高校入試には、一般入試と推薦入試があり、都立推薦入試は、学力試験が基本的には課せられない入試制度です。私立推薦入試は、高校側から示される条件を満たすことが必要となります。どちらも基本的に校長の推薦が必要となります。

校長推薦が認められる生徒は、三年間学習と生活面（委員会、部活動、行事、学級の仕事など）において、責任をもって一生懸命に頑張ったことが認められる生徒です。そして、三中を代表する生徒として、進学先でも他の生徒の模範になるように学習、生活面の活躍が期待される生徒です。

三中には校訓として「礼節」があります。「礼節」とは、礼儀と節度です。礼儀正しく、相手を敬い（友達を認める、節度をもって先生と生徒の立場をわきまえる）、責任ある行動ができる生徒と考えています。

高等学校等を推薦受験するには次の条件があります。

- 1 志望校が第一志望であり、合格したら必ず入学すること。
- 2 志望校が示す推薦の条件に、本人が合致していること。
- 3 三年間学習面と生活面に一生懸命に頑張り、高校でも他の生徒の模範となって行動できる（学習面、生活面）ことが期待されると判断された生徒。

#### 1 推薦生徒の決定について

校内の推薦検討委員会及び職員会議の検討を経て、校長が承認します。

#### 2 推薦に支障をきたす、または推薦できない例

(1) 触法行為を起こす。

(2) 以下のことを繰り返し自ら改善できない。

- ① 髪（染毛、脱色、特殊な髪形など）、服装（シャツ出し、スカート丈、ネクタイ・リボン）や身だしなみに問題がある。（化粧、マニキュア、ピアス、指輪など）
- ② 挨拶ができない、掃除をやろうとしない、チャイム着席等のルールやきまりが守れない。
- ③ 授業中の私語、授業妨害など、他の生徒の迷惑になるような行動をする。また、授業中に寝る、ノートや教科書を出さない。
- ④ いじめの加害者である、人を傷つける行為をする（SNSを含む）、人に不快感を与える言動をする。

福生第三中学校では、推薦を希望する生徒を応援したいと考えています。高等学校等が示す条件を満たすことができない場合を除いて、学校として自信をもって全員推薦できるようにしたいです。そのためには上記の内容を踏まえ、生徒のみなさんが学校生活を一生懸命に取り組む姿勢がなによりも大切です。校訓としての「礼節」が実行できるように、みなさん、頑張ってください。また、保護者の皆さま、生徒本人への励ましを宜しくお願いいたします。

### 3 進路についての今後の流れと心構え

#### (1) 今後の進路の流れ

<p>入試要項の発表</p> <p><b>時期</b>：10月中</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入試要項が決定し、募集人員や試験日などが発表されます。</li> <li>学校説明会の際、推薦基準を公表する学校も多いです。 →この時期は説明会、体験入学などにできるだけ参加して情報を集めてください。個別相談を行っている学校もあります。</li> <li>私立の場合、推薦などの制度を利用する生徒に対し、<u>学校説明会への参加や体験入学への参加を条件にしている学校</u>もあります。注意してください。</li> </ul>
<p>第2回三者面談</p> <p><b>時期</b> 10月31日（木）～ 11月7日（木）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路希望調査をもとに、進路相談を行います。</li> <li>高校進学を希望するご家庭は具体的に志望校名を上げて、相談できるようにしてください。</li> <li>特に、私立の推薦や優遇制度を使った第二志望(併願)受験を希望する人や学校説明会などで事前相談(個別相談)をした場合、担任に具体的にお話してください。</li> <li>中学校での2学期の成績が高校の推薦や都立高校の一般入試の基準となります。基準に満たなかった場合についても、必ず、ご家庭で考えておいてください。</li> </ul>
<p>氏名確認書</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一学期に提出済み。願書等の記入に用いる字をご確認ください。</li> </ul>
<p>受験用写真撮影</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>12月2日(月) 希望者を対象に受験写真撮影を行います。</li> </ul>
<p>第3回三者面談(進路面談)</p> <p>* 諸活動の記録確認</p> <p><b>時期</b> 12月3日(火) ～9日(月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路の希望を決定します。</li> <li>特に、推薦を希望する場合は、進路先を決定することになります。家庭でよく話し合って面談に臨むようにしてください。</li> <li>必要に応じて、<u>推薦願または併願優遇願を配布</u>します。期限までに、必ず提出してください。</li> <li>英検、漢検など<u>資格証明書のコピーが必要な人も提出</u>してください。</li> </ul>
<p>私立高校入試相談</p> <p><b>時期</b>：12月15日(日)～</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学校教員が私立高校に出向き、生徒の成績や生活態度等をもとに、<u>推薦、併願優遇などの可否について相談</u>します。</li> </ul>
<p>出願準備</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>私立高校の推薦受験、第1志望、第2志望、一般受験いずれの場合も、<u>願書は各自で購入</u>します。入試要項は各学校で異なるので、必ず確認してください。</li> <li>都立高校の推薦・学力検査(一次・前期)は<u>インターネット出願</u>です。</li> <li>都立高校の学力検査(二次・分割後期)の願書や必要な書類は、<u>中学校で用意</u>します。</li> <li>特別推薦の特別推薦書の用紙など<u>中学校に配布されないものは、本人が高校で直接交付を受けてください</u>。</li> <li>担任が記入すべき書類等を入れるための封筒を配布します。期限までに必要書類を入れて、担任に提出してください。</li> </ul>
<p>出願・入試本番</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的に、中学校が指定する日に出願してください。</li> <li>郵送やインターネット出願の場合は、各家庭にて出願してください。その後中学校に報告をお願いします。</li> </ul>
<p>合格発表</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>郵送や合否照会サイト、高校で発表されます。発表の形式も確認してください。その後中学校に報告をお願いします。</li> </ul>
<p>入学手続き</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定期間内に必要な書類を提出しない場合や、入学料の納付がない場合は無効となります。注意してください。</li> </ul>

※注意点※

第2志望(併願)の受験者は、合格後の手続関係、入学金納入の延期を申し出る「延納願い」が必要な私立高校があります。

併願先への提出がないと、都立高校の合格発表前に入学金を納入しなければならなくなりますので注意してください。なお、手続き方法、期限が高校によって異なります。

(2) 願書について

都立高校の願書は、推薦、一次・分割前期ではインターネット出願です。(二次・分割後期は願書による出願です。)それに対して、私立高校の願書は各家庭で用意し、記入することになります。入試要項にある書き方をよく見て記入してください。

なお、下記の①～⑥ポイントに留意してください。

① 氏名について

願書や調査書に使う氏名は、一致していないと受け付けてもらえない可能性があります。必ず、統一するようにしてください。

例1：字体による違い…「斉」と「齋」と「齋」、「高」と「高」など

例2：書体による違い…「令」と「令」など

※一学期に提出した「氏名確認書」をご確認ください。

② 印鑑について

印鑑を押すところについては、朱肉を使って鮮明に押しただけのよう、お願いします。また、シャチハタ印等のスタンプ印は認められません。

③ 年齢について

年齢は、令和7年3月31日現在の年齢を記入します。そのため、平成21年4月2日～平成22年4月1日生まれの生徒(今年度中学3年生に該当)は、出願する時点で今年度の誕生日を迎えていなくても15歳となります。

④ 写真について(希望者)

受験用写真は12月2日(月)に学校にて撮影します。希望者のみの実施です。

⑤ 受験料について

受験料は、高校によって振り込み式と直接窓口を持って行く複数の方法があります。前者の場合は、願書に受験料振込確認の証明書をデータ化してつけて提出する場合と、出願サイト上でのクレジットカード決済で行うこととなります。振り込み指定日をきちんと確認して御対応ください。

⑥ 訂正について

訂正をするときは、二本線を引いて上から訂正印を押してください。その上で、空いているスペースに正しい内容を書いてください。決して修正液などは使わないようにしてください。

(3) 「諸活動の記録」(3年間)について

- ア 都立高校調査書の「諸活動の記録」欄の記入に際して利用します。
- イ 私立高校調査書の「特別活動の記録」欄の記入に際して利用します。書式が各学校により違います。都立高校の調査書と同じ書式の高校も多くあります。
- ウ 「諸活動の記録」などの欄は、次のような場合の観点となります。
  - (ア) 「推薦に基づく選抜」の面接の際の参考。
  - (イ) 「第一・二次募集、分割前・後期募集」の面接の際の参考。

- I 特別活動について、委員会名や係活動などを書いてください。
- II 資格や検定など取得しているものや特技について、書いてください。
- III 中学校3年間の校内校外での活動の中で、次の事柄にあてはまることがあったら記入してください。Iと内容が重なってもかまいません。
  - ① 顕著な成果のある活動。《実績や記録を記入する》
  - ② 積極的な態度や意欲をもって取り組んでいる活動。
  - ③ 自分にとって、または、他の生徒にとって好ましい影響を与えている活動。
  - ④ 中学校3年間継続して取り組んだ活動、または、各学年で特に目立った活動。

<書き方の注意>

- ① 委員長や部長などを経験している場合は、忘れずに記入してください。
- ② 英検や漢検などの級を記入してください。英検の1次に合格して2次を受けている場合は「英検〇級2次の結果待ち」と記入してください。また、特技を記入する場合も、級や段のある場合は具体的に書いてください。
- ③ 「諸活動の記録」は活動の事実や実績を客観的な記録として記載するものです。例を見て、できるだけ具体的に記入するようにしてください。

記入例	内 容
	図書委員として「図書だより」の作成を担当 (3学年)
	体育祭で用具係を担当 (2学年)
	テニス部員として市民大会で3位入賞 (1学年)
	高齢者福祉施設を定期的に訪問 (1～3学年)

注1 「……をがんばった」「……に真面目に取り組んだ」「……を一生懸命やった」という表現は使用しない。

注2 都立調査書の「諸活動の記録」欄は書くスペースが限られています。活動内容について、記載してほしい順番を記入してください。

総合的な学習の時間の授業において、生徒に記入用紙を配布、指導いたします。また、その際の参考になるように、中学校生活3年間の振り返るための「調査書作成のための基礎資料」を配布します。お子様とともに中学校生活3年間の振り返って、内容を検討していただくよう、お願いいたします。

※1 「3年間の活動の記録」は生徒が記入しますが、保護者の方も目を通していただき、確認のための押印をお願い致します。

※2 「諸活動の記録」は、原則、記入された順番で調査書に記載されますが、教員が順番を変えたほうが良いと判断した場合、本人、ご家庭に確認の上、順番を入れかえることがあります。

【資料】

調査書の「諸活動の記録」に記載される活動内容について

1. もっている資格・検定等があったら書いてください

資格・検定等の名称	取得学年	発行団体の名称
(例) 英語検定 3 級	(例) 2 年	(例) 日本英語検定協会

2. 生徒会活動（一斉委員会、各行事の実行委員も含む）で、よく活動したと思うことを挙げましょう

(例) 保健給食委員長として組織運営を担当（第 2 学年）、音楽会実行員長として司会進行を担当（第 3 学年）

3. 学級活動（班長、教科係、指揮者、伴奏者など）でよく活動したと思うことを挙げましょう

(例) 音楽会で課題曲の指揮者を担当（第 1 学年）、修学旅行の班長として、班行動計画を作成（第 3 学年）

4. 部活動でよく活動したと思うことを挙げましょう

(例) 3 年間バスケットボール部でレギュラーとして多くの試合に出場

5. 個人で入賞したことや表彰されたことがあったら書いてください

(例) 人権作文コンクールで佳作に入賞（第 3 学年）

6. 地域社会での活動（サークル、ボランティアなど）でよく活動したと思うことがあれば書いてください。

※ 3 年間継続して活動したもので、一回だけの活動は認められません。

(例) 3 年間老人ホームに訪問し、高齢者の話し相手になった

◎上の 1～6 を振り返り、『調査書』への記載を希望するものを書いてください。文章をお願いします。

活 動 内 容	学 年	優 先 順 位



(4) 自己PRカードの書き方（生徒向け資料）

都立高校では、面接を実施する都立高校を志願する場合、「自己PRカード」を書き、出願時に提出します。また、出願時に提出しない場合でも、合格後に、「入学関係書類」の提出時に提出することになります。

- 記入内容は… ① 志望理由について  
② 中学校生活の中で得たこと  
③ 高等学校卒業後の進路について の3つです。

このカードは、都立高校が「本校の期待する生徒の姿」（各教室に冊子を置きます）を踏まえた評価の基準によって、入試の可否判定資料の一部として使われます。したがって、記入する際は「本校の期待する生徒の姿」を参考にすることが大切です。また、自分の長所や意欲をアピールする文章を書き、その気持ちを伝えることも必要です。

そのためには、

- ① 自分自身のことを見つめ直す  
② 志望校のことをよく知ることが大切です。

①では、現在の自分だけではなく、将来の自分の進みたい道も含めて大きくとらえることが必要です。

②では、市販の学校案内やパンフレットに書いてあることだけではなく、学校説明会や体験入学などに参加し、自分の目で確認することも必要です。

(5) 志望校選択にあたって

- ① 本人の適性・興味・関心を考慮して、将来の見通しの上に立ち選択してください。そのためにも、本人がしっかりと志望の理由をもつことが大切です。
- ② 大学・短大の付属であっても、全員その大学・短大に進学できるとは限りません。努力次第で高校卒業後の進路が、本人の望むものとなるのか、見通しをもっていたいものです。
- ③ 説明会や見学会、できれば体験入学に参加しましょう。入学後、こんなはずではなかったということにならないようにしましょう。

以下のポイントを押さえておくと良いでしょう。

- |                                |                                 |                                   |                                    |
|--------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 教育方針  | <input type="checkbox"/> 校内の雰囲気 | <input type="checkbox"/> 1クラスの生徒数 | <input type="checkbox"/> 費用        |
| <input type="checkbox"/> 施設・設備 | <input type="checkbox"/> 部活動    | <input type="checkbox"/> 卒業後の進路   | <input type="checkbox"/> 通学経路・時間など |

## 4 都立高校について

### (1) 都立高校への応募資格について

次の項目に当てはまらない人は、担任に申し出てください。手続が必要な場合があります。

ア 令和6年12月31日現在、都内に所在する中学校等に在籍し、令和7年3月に都内の中学校等を卒業する見込みの者。

イ 推薦に基づく選抜は以下による者

(ア) 一般推薦 … 一般推薦に志願する意思があり、在学している中学校の校長の推薦を受けた者

(イ) 特別推薦 … 特別推薦に志願する意思があり、在学している中学校の校長の推薦を受けた者

ウ 保護者と同居している者で、令和6年12月31日現在、都内に住所を有し、かつ、入学後も引き続き都内から通学することが確実な者。

### (2) 推薦に基づく選抜

事 項	日 程
出 願	(入力期間) 令和6年12月20日(金)～令和7年1月16日(木)午後5時まで ※入力期間とはインターネットを活用した出願において、インターネット上の出願サイトに志願者情報等を入力することができる期間。
検 査	令和7年1月26日(日)、1月27日(月)
合格者の発表	令和7年1月31日(金) 午前8時30分(出願サイト上で発表) 午前9時30分(校内掲示)
合格者の入学手続	令和7年1月31日(金) 午前9時30分～午後3時30分 令和7年2月 3日(月) 午前9時～正午

※1 推薦に基づく選抜として、「一般推薦」と「文化・スポーツ等特別推薦」(特別推薦)及び理数等特別推薦が設けられています。

※2 定時制単位制課程で推薦入試を行うのは新宿山吹高校定時制課程・情報科2・4部のみです。日程等は上記と同じです。

ア 一般推薦

基礎的な学力を前提に、思考力、判断力、表現力等の課題を解決するための力や、自分の考えを相手に的確に伝えるとともに、相手の考えを的確に捉え人間関係を構築するためのコミュニケーション能力など、これからの社会にあって生徒たちに必要となる力を評価し、選抜する。

イ 特別推薦

(i) 文化・スポーツ等特別推薦

各都立高校の個性化・特色化を推進するため、卓越した能力をもつ生徒の力を評価し、選抜する。

(ii) 理数等特別推薦 (立川高等学校 創造理数科、科学技術高等学校 創造理数科)

科学技術の根底にある理数系分野の素養を前提に、探求過程を通して、課題を解決する力や、他者の考えから自分の考えを深めるとともに、新しい価値を生み出す創造性など、変化し続ける社会にあって生徒たちに必要となる力を評価し、選抜する。

ウ 募集人員

○普通科…募集人員の20%(コース制30%)以内

○専門学科・総合学科等…募集人員の30%(科によって40%)以内

エ 出願手続（入学願書等提出方法）

○推薦に基づく選抜及び第一次募集・分割前期募集（チャレンジスクール及び定時制課程単位制の選抜を含む）において、インターネットを活用した出願を、全校で実施する。

オ 選考

（ア）一般推薦

都立高校の一般推薦は、調査書・個人面接・集団討論、小論文又は作文、実技検査、その他学校が設定する検査の総合成績から選考します。

志願者全員に個人面接を実施します。また、集団討論を実施する高校もあります。また、小論文又は作文、実技検査、その他学校が設定する検査のうちから一つ以上の検査を実施します。例年、推薦入試は、一般受検よりも高い倍率になる高校が多くなる傾向があります。したがって、面接練習を受けるなど、事前に準備を行うことが不可欠となります。

（イ）特別推薦

学校ごとに種目等が定められていますのでよく調べる必要があります。

調査書、面接試験（個人面接または集団面接）及び実技検査のほか、小論文又は作文等の検査を適宜組み合わせ、選考が実施されます。推薦選抜の基準と定員は学校ごとに定められています。推薦の基準が設定され、それなりの実績がないと合格は厳しいです。

一般推薦と同様、「中学校長の推薦を受けた者」を応募資格とすることとし、校長推薦に基づく選抜であることが明確化されていますので、中学校での学習・生活の状況も推薦するかの判断に含まれます。

※注意事項※

・調査書点

観点別学習状況の評価（全27観点・A、B、C）又は評定（9教科・5、4、3、2、1）のどちらか1つを調査書点として点数化します。（エンカレッジスクールは観点別学習状況評価を用います。）

・面接点等（各学校が適切に定めます）

個人面接、小論文又は作文等の検査結果は各都立高校が適切に基準を定めてそれぞれ点数化します。個人面接の一部で「パーソナル・プレゼンテーション」や「自己PRタイム」を実施する高校もあります。

・自己PRカード

点数化しませんが、面接の参考となります。「志望理由について」と「中学校生活の中で得たことについて」「高等学校卒業後の進路について」を記入します。各都立高校があらかじめ示した「本校の期待する生徒の姿」を参考にして記入します。

・特別推薦の選考に当たっては、「文化・スポーツ等特別推薦書」も配慮します。

特別推薦（理数）については、理数等特別推薦書（学校所定の様式）と入学願書（学校所定の様式）があります。

（ウ）出願方法

都立高校1校に出願するものとし、志願変更はできません。

①一般推薦

・1校1コース、または1科（分野）に限り出願することができます。

- ・志望する同一高校内にある同一の学科内に2科(2分野)以上ある場合（芸術に関する学科を除く）は、第2志望として他の1科(分野)に限り指定することが可能。ただし、同一の都立高校内に普通科とコース、農業科と家庭科等、複数の学科がある場合は、それぞれ別の学科として扱う。したがって、一方を第1志望とした場合、他方を第2志望に指定することはできない。

## ②文化・スポーツ等特別推薦

- ・特別推薦を実施する都立高校の種目等のうちから1種目を指定し、1校1コース又は1科に限り出願することができます。
- ・受検する高校が同じ日に実施している一般推薦にも出願することができます。

【例】 荒川工科高校の特別推薦で、柔道・電気科に出願し、一般推薦で第1志望に電気科、第2希望で電子科に出願することができる

## ③特別推薦（理数）

- ・他の推薦に出願することはできません。
- ・科学的な取組に関するレポート（A4判2枚以内、任意様式）

※1 入学審査料は、一般推薦、文化・スポーツ特別推薦の両方必要となります。

- ・推薦受検は第一志望で合格したら“必ず入学する人”だけ志願できます。
- ・合格後に辞退することはできないので十分に考えてから出願してください。

## (3) 学力検査に基づく選抜（第一次募集・分割前期募集）

### ア 第一次募集・分割前期募集日程

事項	日程
出願	(入力期間) 令和6年12月20日(金)～令和7年2月5日(水)午後5時まで
志願変更	※志願変更のできるパターンについてはP13を参照してください。
願書取下げ	令和7年2月12日(水) 午前9時～午後3時
願書再提出	令和7年2月13日(木) 午前9時～正午
学力検査・面接	令和7年2月21日(金) 集合 午前8時30分
面接及び実技検査等	令和7年2月21日(金)以後、各都立高校が定める日時
合格者の発表	令和7年3月3日(月) 全日制 午前8時30分(合否照会サイト上で発表) 午前9時30分(校内掲示) 定時制 午前8時30分(合否照会サイト上で発表) 午後4時(校内掲示)
入学手続	令和7年3月3日(月) 全日制 午前9時30分～午後3時30分 定時制 午後4時～午後8時 3月4日(火) 全日制 午前9時～正午 定時制 午後4時～午後8時

イ 定時制課程単位制・第一次募集・分割前期募集日程

事項	日程
出願	(入力期間) 令和6年12月20日(金)～令和7年2月5日(水)午後5時まで
志願変更	※志願変更のできるのは一橋・浅草・荻窪・八王子拓真(一般枠)・砂川高校
願書取下げ	令和7年2月12日(水) 午前9時～午後3時
願書再提出	令和7年2月13日(木) 午前9時～正午

検査	令和7年2月21日(金) 第1学年相当 集合 午前8時30分 ※面接については、令和7年2月21日(金)以後、各都立高校が定める日時
合格者の発表	令和7年3月 3日(月) 一橋・新宿山吹・浅草・荻窪・八王子拓真・砂川 午前8時30分(合否照会サイト上で発表) 午前9時30分(校内掲示) 六郷工科・飛鳥・板橋有徳・青梅総合・東久留米総合 午前8時30分(合否照会サイト上で発表) 午後4時(校内掲示)
入学手続	令和7年3月 3日(月) 一橋・浅草・荻窪・八王子拓真・砂川 午前9時30分～午後3時30分 新宿山吹 午前9時30分～午後8時 六郷工科・飛鳥・板橋有徳・青梅総合・東久留米総合 午後4時～午後8時 令和7年3月 4日(火) 一橋・浅草・荻窪・八王子拓真・砂川 午前9時～正午 新宿山吹 午前9時～午後5時 六郷工科・飛鳥・板橋有徳・青梅総合・東久留米総合 午後4時～午後8時

ウ 募集人員

募集人員は、10月中旬ごろ発表されます。

エ 出願に要する書類(都内中学校卒業見込み者の場合)

※推薦入試も同じ考査料となります。

①入学願書(志願者情報等を出願サイトに入力する。)

②入学考査料…全日制 2,200円 定時制 950円

※出願サイト上での決済又は納付書による納付とする。納付書による場合は、所定の納付書裏面に記載の納付場所で納付した領収書等の画像を出願サイトにアップロードする。

やむを得ず所定の入学願書を用いる場合は、領収証書を裏面に張り付けて提出する。

③ 調査書(中学校で準備)

④自己PRカード(面接実施校の志願者のみ提出する)

⑤中学校英語スピーキングテスト(ESAT-J3)スコアレポート

※やむを得ない理由によりスピーキングテストを受験できなかったことについて東京都教育委員会の承諾を受けた志願者は、スコアレポートに代えて、都立高等学校入学者選抜におけるESAT-J3の活用に関する措置申請承諾書を提出する。

## オ 出願方法

志願者は、1校1コースまたは1科(分野)に限り出願できます。

志望する同一の都立高校内にある同一の学科内に2科(2分野)以上ある場合(芸術に関する学科を除く。)は、他の全ての科(分野)に志望の順位を付けて出願することができます。

ただし、同一の都立高校内に普通科とコース、農業科と家庭科等、複数の学科がある場合は、それぞれ別の学科として扱うため、一方を第1志望とした場合、他方を第2志望に指定することはできません。

※ 都立高校に一度合格した人は、その後、他の都立高校に出願できません。

## カ 志願変更

願書提出後、次の表の○を付した変更について1回に限り志願の変更ができます。

チャレンジスクール、八王子拓真高校(チャレンジ枠)、一橋、浅草、荻窪、八王子拓真(一般枠)、砂川高校から、全日制高校への志願変更について1回に限り行うことができます。逆の変更はできません。

再提出 取下げ		全日制	定 時 制		
			定 時 制 単 位 制		定時制 単位制 以外
			チャレンジスクール ※1 八王子拓真(チャレンジ枠) 及びグループA ※2	グループB ※3	
全 日 制		○	×	×	×
定 時 制	定 時 制 単 位 制	○	○	×	×
		×	×	×	×
	定時制単位制以外	×	×	×	×

※1：チャレンジスクールとは、六本木、大江戸、世田谷泉、稔ヶ丘、桐ヶ丘、小台橋、立川緑高校をいう。

※2：グループAとは、一橋、浅草、荻窪、八王子拓真(一般枠)、砂川高校をいう。

※3：グループBとは、新宿山吹、六郷工科、飛鳥、板橋有徳、青梅総合、東久留米総合高校をいう。

<志願変更ができない場合があります。(一次・分割前期の場合)>

- ・表中の×のもの。(全日制課程から定時制課程への志願変更はできない。)
- ・入学願書の返却を受けた都立高校の同一コース及び科(分野)に再提出することはできません。  
また、同一の都立高校内にある同一科内の科(分野)相互間の志望順位の変更もできません。

<次のことにも注意してください。>

- ・志願変更願を、在籍している中学校長の確認を経て、出願した都立校長に提出し、出願に要した書類及び調査書等の返却を受ける。
- ・志願変更先の高校には、返却を受けた提出書類(面接実施校には新たに作成した自己PRカード)を提出し、新たな受検票の交付を受けます。その際、志願変更先の高校名等の必要な事項を記入します。  
調査書は厳封されて返却されるので開封しないでください。

- ・チャレンジスクール又は八王子拓真高校(チャレンジ枠)に出願後、全日制、一橋、浅草、荻窪、八王子拓真(一般枠)、砂川高校へ志願変更する場合は、新たに調査書及び自己PRカードを提出します。入学料の差額1,250円は再提出先の高校窓口において、現金で納付します。
- ・一橋、浅草、荻窪、八王子拓真(一般枠)、砂川に出願後、チャレンジスクールおよび八王子拓真高校(チャレンジ枠)へ志願変更する場合は、調査書・自己PRカードの提出は必要ないが、自己PRカードにかえて学校指定の志願申告書を提出します。
- ・チャレンジスクールに出願後、他のチャレンジスクールへ志願変更する場合は、新たな志願申告書を提出します。

## キ 学力検査

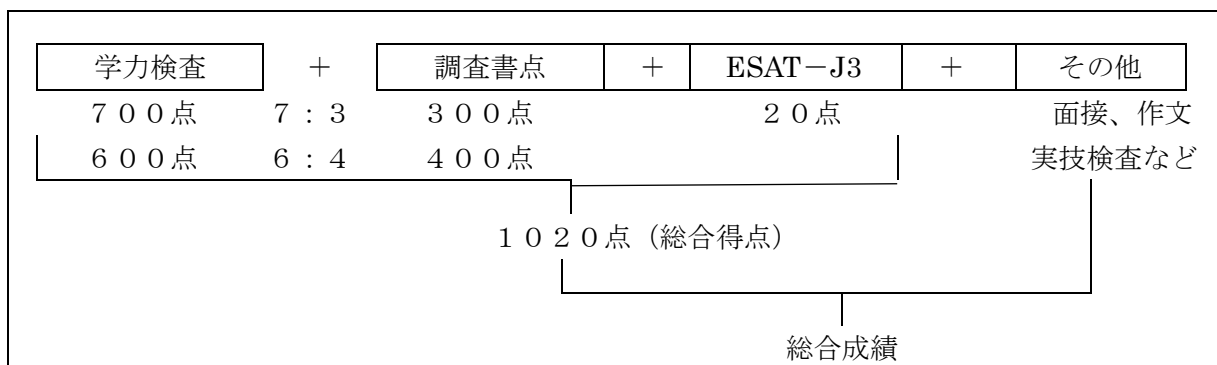
### ① 選考の方法

一次募集の選抜は、一般に学力検査点(入試得点)と調査書点(評定の点数化)の合計点(総合成績)によって行われます。作文・面接等があるところはさらにそれも加点されます。

- ・学力検査点 + 調査書点 = 1000点満点
- ・その他(面接・作文)

総合得点は、学力検査点(入試得点)と調査書点(内申点)を単純に合計するのではなく、1000点満点になるように計算し直します。そのとき、各高校の学力検査点と調査書点の比重は、下記の表のようになります。

	比率	学力検査点	調査書点	
全日制	7 : 3	700	300	原則全ての都立高校
定時制	7 : 3又は6 : 4	600	400	原則全ての都立高校(学校が決めます)



スピーキングテスト結果 (評価)	A	B	C	D	E	F
都立高等学校入学者選抜での活用 (点数化)	20点	16点	12点	8点	4点	0点

- ・各教科は100点を満点とし、5教科ないし3教科の実施となります。面接や作文・実技検査を行う学校もあります。また特定の教科に比重をかける傾斜配点を行う高校もあります。
- ・エンカレッジスクール(蒲田・足立東・東村山・秋留台・中野工業・練馬工業)とチャレンジスクール(六本木・大江戸・世田谷泉・稔ヶ丘・桐ヶ丘・八王子拓真(チャレンジ枠)・立川緑高校)では、学力検査を実施しません。

### ② 入試得点の換算方法

比率	得点の満点	5教科入試	3教科入試
7 : 3	700点	(得点)×700÷500	(得点)×700÷300
6 : 4	600点	(得点)×600÷500	(得点)×600÷300

③ 調査書点の換算方法

調査書を換算するには、エンカレッジスクールやチャレンジスクールをのぞき、全て5段階の評定を用います。この評定を「換算内申」にしてから、比率に合わせて調査書点を換算します。

学力検査を実施する教科の評定は1倍、学力検査を実施しない教科の評定は2倍します。

※換算内申の計算

学力検査の教科	1倍	2倍	評定の満点
5教科(国数英社理)	国・数・英・社・理	音・美・保体・技家	65
3教科(国数英)	国・数・英	社・理・音・美・保体・技家	75

※調査書点の計算

比率		5教科学力検査を受ける場合	3教科学力検査を受ける場合
7:3	300点満点に換算	(換算内申)×300÷65	(換算内申)×300÷75
6:4	400点満点に換算	(換算内申)×400÷65	(換算内申)×400÷75

(4) 学力検査に基づく選抜(分割後期募集・第二次募集)

ア 分割後期募集・全日制第二次募集日程

事 項	日 程
出 願	令和7年3月6日(木) 午前9時～午後3時
志 願 変 更	※学力検査に基づく選抜(第一次募集・分割前期募集)に同じ
願書取下げ	令和7年3月7日(金) 午前9時～午後3時
願書再提出	令和7年3月10日(月) 午前9時～正午
学力検査及び面接	令和7年3月11日(火) 集合 午前8時30分
面接及び実技検査等	令和7年3月11日(火)以後、各都立高校が定める日時
合格者の発表	令和7年3月14日(金) 午前8時30分(合否照会サイト上) 正午(校内掲示)
入 学 手 続	令和7年3月14日(金) 正午～午後3時 令和7年3月17日(月) 午前9時～正午

イ 定時制第二次募集日程

事 項	日 程
出 願	令和7年3月24日(月) 午後3時～午後7時
志 願 変 更	※定時制第二次募集を実施している他高校に変更ができる。
願書取下げ	令和7年3月25日(火) 午後3時～午後7時
願書再提出	令和7年3月26日(水) 午後3時～午後7時
学 力 検 査 等	令和7年3月27日(木) 集合 各都立高校が定める時刻
合 格 発 表	令和7年3月28日(金) 午前8時30分(合否照会サイト上) 午後3時(校内掲示)
入 学 手 続	令和7年3月28日(金) 午後3時～午後7時 3月31日(月) 午後3時～午後7時

ウ 募集人員

(ア) 分割募集

一般選抜の募集人員をあらかじめ分割し、第一次募集期間における選抜(分割前期募集)と第二次募集期間における選抜(分割後期募集)の2回に分けて募集を行う。分割募集実施校の分割後期人数は10月中旬頃に発表される予定です。



(イ) 第二次募集

第一次募集で入学手続者数が募集人員に達しない学校は、その相当人数について第二次募集を行います。(実施されない可能性もあります)

エ 出願について

- ① 1校に限り出願できます。
  - ② 志望校に複数の学科、コース、科がある場合には、志望の順位を付けることができます。(第一次募集・分割前期募集と異なります。)
- ※都立高校に一度合格した人は、その後、他の都立高校に出願できません。

オ 分割後期募集・全日制二次募集における志願変更

次の表の○を付した変更について、1回に限り行うことができる。

再提出 取り下げ		全日制	定時制単位制
			チャレンジスクール ※1 八王子拓真(チャレンジ枠) 及びグループA ※2
全 日 制		○	×
定時制 単位制	チャレンジスクール ※1 八王子拓真(チャレンジ枠) 及びグループA ※2	○	○

※1：チャレンジスクールとは、六本木、大江戸、世田谷泉、稔ヶ丘、桐ヶ丘、小台橋、立川緑高校をいう。

※2：グループAとは、一橋、浅草、荻窪、八王子拓真(一般枠)、砂川高校をいう。

カ 学力検査

①選考の方法

教科については、国語、数学及び外国語(英語)の3教科とする。

定時制二次募集は、3科を下らない範囲で各都立高校が定める。また、面接を実施する。

(5) 都立高校通信制課程

ア 新宿山吹高校、一橋高校、砂川高校の3校で行います。(令和5年4月入試)

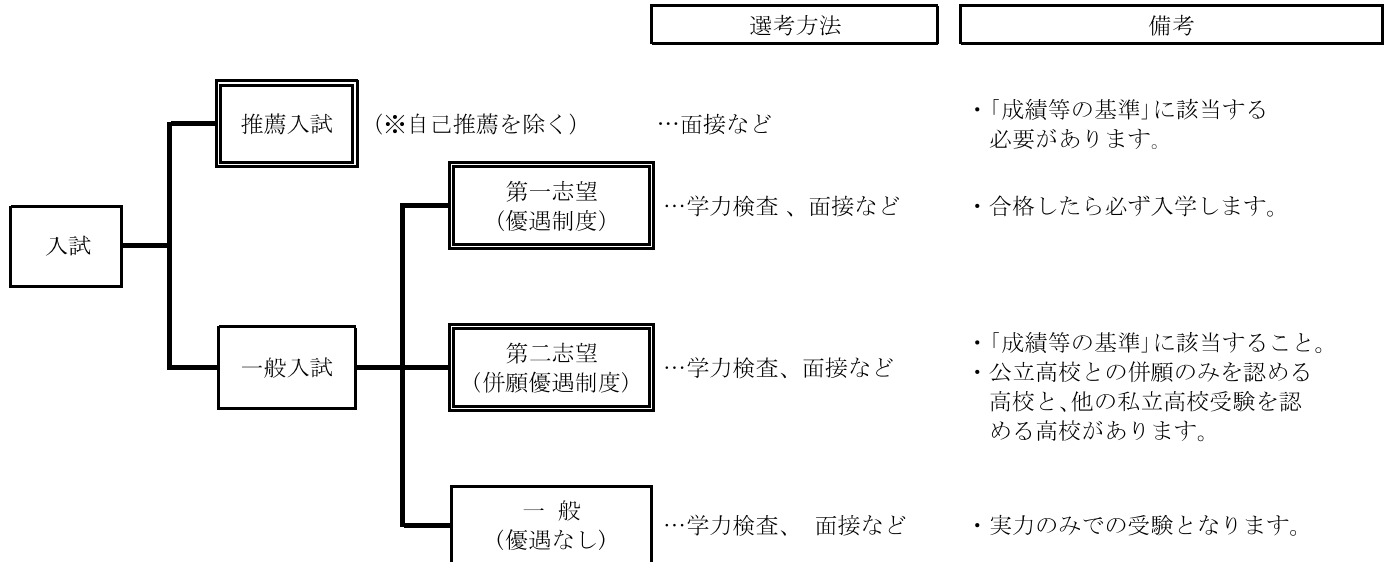
イ 選抜実施方法、詳しい日程については担任にご相談ください。

## 5 国立高校、高等専門学校について

受験を希望される場合、基本的には各自で必要資料をお取り寄せください。

## 6 私立高校について

一般的な私立の入試制度



※      の受験を希望する場合、(第一志望や第二志望でも)

- ・ 12月15日からの中学校と私立高校との「入試相談」にかける必要があります。
- ・ 入試相談とは、中学校と私立高校担当者間で、各学校の「成績等の基準」に照らし審査を受け、合格の可能性を相談する制度です
- ・ 福生三中の推薦基準にも適合することが必要です。

### (1) 選抜

#### ア 日程

事項	推薦	一般
出願	令和7年1月15日(水)以降	令和7年1月25日(土)以降
入試	令和7年1月22日(水)以降	令和7年2月10日(月)以降

#### イ 志願について

- ① 受験者を「第一志望」、「第二志望」、「一般」に区別し、合否判定の際の扱いを変える場合があります。
- ② 入試日の異なる学校を複数受験することは可能です。
- ③ 様々な優遇制度を利用した場合、制約が生まれます。第一志望は合格したら必ずその学校の入学手続きを行いません。第二志望は、第一志望の高校に不合格の場合は必ずその学校の入学手続きを行いません。

#### ウ 選抜方法について (各私立高校によって選抜方法が異なります)

- ① 学力試験 ( 国語・数学・英語の3教科が多い)
- ② 面接

## 7 専修学校について

### (1) 内容について

- ① 学校教育法に定められた正規の学校で、高校や大学などと同様に一定の基準に基づいて設置認可されています。都内では約60校の専修学校が、高等課程を設置しています。

課程名	入学資格	学校の名称例	
		単独課程の場合	併設の場合
専門課程	高校卒業以上	～専門学校	～専門学校
高等課程	中学卒業以上	～高等専修学校	
一般課程	社会人対象		

- ② 専門的な知識や技能を身につけ、また、さまざまな資格や検定を取ることもできます。おもに次の分野・内容があります

分野	内容
工業	電気工事科、建築技能情報科、自動車科など
農業	園芸科、造園科など（都内には設置されていない）
医療	准看護科など
衛生	調理師科、製菓衛生師科、理容・美容科など
教育・社会福祉	福祉課など
商業実務	情報処理科、事務管理科など
服飾・家政	家政科、服飾科、ファッションデザイン科など
文化・教養	英語科、美術科、芸術科、演劇・音楽科、繊維科、体育科など

- ③ 修業年限は1～3年が多く、分野・内容によって異なります。
- ④ 技能連携制度をとっている専修学校は、「高校卒業の資格」が得られます。また、「大学受験資格」が与えられる学校もあります。  
(通信教育課程や定時制課程の高校と提携しており二つの学校に籍を置くことになります。)
- ⑤ 学費(初年度納入金)は、約50～150万円程度で、分野・内容によって大きく異なります。

### (2) 入学試験について

- ① 選考の方法は、書類選考・学科試験・面接等で、学校によって異なります。
- ② 高等学校との併願が可能な学校もあります。
- ③ 推薦入試を希望する場合、事前に体験授業に行っていることが必要な学校もあります。
- ④ 入試日程等早くから始まり、数回に分けて行われる学校が多いです。

## 8 サポート校について

通信制高校に在籍する生徒に対して、早期(最短で3年間)で卒業できるよう、単位取得、進級に必要なとされる支援を行う民間の教育施設のことです。

通信制高校の生徒は、自学自習となるのことで、途中で挫折してしまうケースや卒業までに5年以上かかってしまうケースが目立ちます。そういった生徒を学習面、生活面、精神面でサポートするスタイルの学校です。サポート校では、高校卒業資格取得のための単位の認定を行うために、提携する通信制高校へ同時に入学します。

## 9 都立職業能力開発センター(キャリアカレッジ)について ※詳細は11月に発表

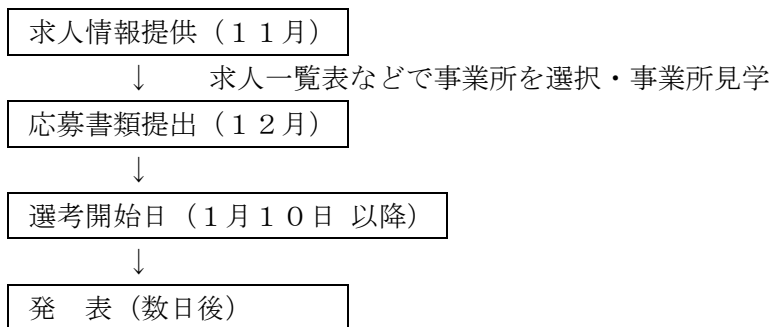
### (1) 内容について

- ① 厚生労働省の認可により設置された公立の機関です。
- ② 短期間(6ヶ月～2年)で、機械加工、塗装などの技術を修得することができます。中学3年生は、推薦入校試験も受けることができます。
- ③ 一般入校試験もあります。ただし、いずれの場合も中学生向けのコースは少ないのが現状です。
- ④ キャリアカレッジかハローワーク(公共職業安定所)に申し込みます。
- ⑤ 就職時は、ハローワークで職業紹介します。

## 10 就職について

- (1) 実際に見学し、労働条件などの内容をよく把握しておきましょう。
- (2) ハローワークを利用して、信用できる職場を選べます。縁故で就職する場合も、ハローワークを通してきちんとした雇用契約を結ぶよう勧めています。
- (3) 会社で働いたり、研修したりしながら高校卒業の資格を得る企業内学校もあります。給料または奨学金支給、卒業後の完全就職などの利点があります。  
都内では、日野工業高等学園があります。

※ハローワークを通しての就職(例年の流れ)



※ ハローワークとの手続は、学校を通して行います。希望者は早めに担任にご相談ください。  
(日野工業高等学園志望の生徒は早めに申し出てください。)

## 補足資料1：チャレンジスクールとエンカレッジスクールについて

### (1) チャレンジスクール

チャレンジスクールとは、昼夜間3部制の定時制、単位制、総合学科の都立高校です。午前の部、午後の部、夜間の部の3部に分かれており、働きながら勉強をする生徒や朝の起床に難のある生徒も通いやすい定時制に担っています。カリキュラムによる単位があることや、総合学科ならではの専門科目が多くあることが特徴です。

※ 多摩地区に都立高校のチャレンジスクールはありませんでしたが、来年度より立川市に都立立川緑高校が新設されることになりました。

また、チャレンジ枠併設高校として都立八王子拓真高等学校があります。

※ チャレンジ枠…入学選抜はチャレンジスクールと同様に学力検査を行いません。

※ 上記以外のチャレンジスクール

- ・都立六本木高等学校
- ・都立大江戸高等学校
- ・都立世田谷泉高等学校
- ・都立稔ヶ丘高等学校
- ・都立桐ヶ丘高等学校
- ・都立小台橋高等学校

### (2) エンカレッジスクール

エンカレッジスクールとは、全日制、学年制、普通科（専門学科）の都立高校です。多くの全日制高校と同一視されがちですが、指導目的を「社会生活を送るうえで必要な基礎的・基本的学力を身に付けること」としています。

そのため、中間テスト、期末テストではなく、生徒の学習に対するやる気、態度を評価の対象としています。また、習熟度別・少人数制の授業形態から基本的学力を確実に身に付けさせることに重点を置いていることがわかります。

※1 多摩地区のエンカレッジスクールは以下の2校です。

- ・都立東村山高等学校
- ・都立秋留台高等学校

※2 都内のエンカレッジスクールは以下の通りです。

- ・東京都立足立東高等学校
- ・東京都立蒲田高等学校
- ・東京都立練馬工科高等学校
- ・東京都立中野工科高等学校

補足資料 2 : 令和 7 年度東京都立高等学校入学者選抜における主な変更点

項 目	内 容
(1)新型コロナウイルス感染症の 5 類感染症移行を踏まえた主な対応	<p>&lt;推薦に基づく選抜について&gt;</p> <p>○ 新型コロナウイルス感染症の 5 類感染症への移行に伴い、各高校が期待する生徒を選抜するために必要と判断した場合に実施することとした集団討論は、令和 7 年度入学者選抜も同様の対応を継続し、実施の有無は各高校において判断する。</p> <p>&lt;「実績等を証明する書類等の写し」の提出について&gt;</p> <p>○ 新型コロナウイルス感染症の 5 類感染症移行以前に中学校生活を送った受検者の実情に鑑み、令和 6 年度入学者選抜までは「実績等を証明する書類等の写し」の提出を求めない対応を行っていた。改めて検討を行った結果、文化・スポーツ等特別推薦においては、中学校長が、各高校が示す推薦の基準を踏まえて推薦する生徒を決定していること、また、高校は「実績等を証明する書類等の写し」の提出がなくても、面接や実技検査により、期待する生徒を選抜することができていることから、令和 7 年度入学者選抜では「実績等を証明する書類等の写し」の提出を求めない対応を継続する。</p> <p>&lt;追検査について&gt;</p> <p>○ 第一次募集の検査日当日に新型コロナウイルス感染症を含むインフルエンザ等学校感染症に罹患した者、学校保健安全法第 19 条により、中学校長が出席停止の措置を行った者及び月経随伴症状の生徒や痴漢被害者、やむを得ない入院等で受検できなかった者等を対象とした「追検査」については、令和 7 年度入学者選抜も継続しても実施する。</p> <p>なお、「追々検査」については、令和 6 年度入学者選抜と同様に、令和 7 年度入学者選抜においても実施しない。</p>
(2)受検上の配慮	<p>○ 障害や学力検査等の検査日当日の事故、病気等により、検査当日に検査実施上の配慮を行うことを、これまで「特別措置」と呼称していたが、この名称を「受検上の配慮」と改める。</p> <p>○ 名称の変更に伴い、「特別措置」の申請書の名称を「学力検査等実施上の措置申請書(様式 24)」から「学力検査等実施上の配慮申請書(様式 24)」に変更するなど、一部の申請書の様式について、表現を改める。</p>
(3)在京外国人生徒等対象の選抜等	<p>○ 在京外国人生徒対象の選抜は、令和 6 年度入学者選抜までは国際高校、竹台高校、田柄高校、南葛飾高校、府中西高校、飛鳥高校、六郷工科高校及び杉並総合高校の 8 校で実施していたが、令和 7 年度入学者選抜においては、この 8 校に加え、一橋高校、浅草高校、荻窪高校及び砂川高校の 4 校で新たに実施する。</p> <p>○ 応募資格について、これまで外国籍を有する者に限定していた国籍要件を撤廃し、日本語指導が必要な日本国籍の者の応募資格を認める。これにより、「在京外国人生徒対象の選抜」から、「在京外国人生徒等対象の選抜」と名称を改める。</p> <p>○ また、応募資格において入国後 3 年以内としている在日期间について、中学校への入学準備等のために入学日より前に入国するケースもあることから、これまで 3 年と入学準備等の 1 か月までを 3 年以内とみなしていたが、入学準備期間として 1 か月よりも前に入国するケースもあることから、入国後の在期間を延長し、3 年 3 か月までを 3 年以内とみなす。</p> <p>○ これまで、国籍を問わず、入国後の在期間が入学日現在原則として 3 年以内の者で、日本語指導を必要とする生徒等に対する措置であった「ルビ付問題・辞書持込み」の申請要件を、在京外国人生徒等対象の選抜の応募資格に合わせ、入国後 3 年 3 か月とする。</p>